



1学期が無事に終わりました。いよいよ夏休みに突入です。

長い1学期が終わりました。新型コロナウイルスの影響も多少ありましたが、皆様方のご理解ご協力のお陰で、大きな事故もなく無事に終わることができました。特に、3年ぶりの関西方面への修学旅行や北九州方面への社会見学および油谷青少年自然の家への自然体験学習を無事に終えることができたことは大きな成果となりました。さて、いよいよ夏休みに突入です。3年生は夏休み前半で部活動を引退しますが、すぐに高校のオープンキャンパスがあります。自ら積極的に体験をして、今後の進路決定の参考にしましょう。また、2学期には「体育祭」や「文化祭」などの大きな行事があります。これらの行事は中学生にとって、心が大きく成長していくチャンスです。このチャンスを生かすためにも夏休み中、規則正しい生活を心がけましょう。2学期の主な行事は次のとおりです。

- 2学期始業式 8/25 (木)
- 体育祭 9/10 (土)
- 2学期終業式 12/24 (金)

- 新人戦 9/3 (土) 4 (日)
- 文化祭 10/22 (土)



生徒会スローガンの達成に向けて

今年度の生徒会スローガンは「彩虹（さいこう）」です。「彩」には「生徒一人ひとりの個性」を、「虹」には「一人ひとりの個性が一つにまとまる」という意味を込めました。

生徒会活動を通して、生徒一人ひとりの個性を尊重し、「最高」の中学校にしたいという思いが表現されています。このスローガンを全員で達成し、より良い藤山中にしていきたいと思います。

(生徒会長 金本柚月)



カーリング北京オリンピック銀メダリスト「ロコ・ソラーレ」がやってきた！



(左から) 吉田タ梨花選手 と 鈴木タ湖選手

北京オリンピックで銀メダルを獲得した女子カーリングチーム「ロコ・ソラーレ」の吉田タ梨花選手と、鈴木タ湖選手が、7月13日(水)午後、本校を訪れ、生徒と交流しました。宇部市が実施している「子ども夢教室」特別版として実現したものです。はじめに、夢をつかむまでの道筋についてお話をいただいた後、室内でカーリングが楽しめる「カローリング」で生徒と交流しました。鈴木選手は「成長したなっていう前には必ず大切な「負け」があって、辛いけど階段を一步一步上っている段階だなんて考えることができるようになった」と話し、吉田選手は「チーム一緒に乗り越えていくしかなかったのが、みんなが支えてくれるのはすごく大きなこと」

と、2人は挫折を恐れないでほしいと生徒に伝えました。その後、学年ごとに選手を囲んで記念撮影をしました。最後に全校生徒が北京オリンピックで獲得した銀メダルに直接触れさせていただくという貴重な経験をさせていただきました。



北京五輪の銀メダル



メダルを手にする生徒



カローリングで生徒交流する吉田選手



お礼の言葉を述べる前田ゆめさん

★地域元気応援隊★ 「全市一斉空き缶等回収」に参加しました！

7月3日(日)、藤山ふれあいセンターに、火ばさみをもって20名の隊員が集まりました。4コースに分かれて、藤山ふれあいセンターを出発し、藤山校区を地域の皆さんと会話を交わしながら、1時間半程度歩き回ってごみを回収しました。隊員からは、「日頃気づかなかったけど、こんなにもたばこの吸い殻が落ちていたとは驚いた」、「溝に缶が落ちていたので、ポイ捨てが減りますように」、「地域の人と知り合いになれたのでうれしかった」と感想が聞けました。また、参加していただいた地域の方に「お疲れさまでした」と言葉を添えて、参加賞のお茶とごみ袋を手渡しました。参加された地域の方から「ありがとう」、「助かった」、「元気をもらった」、「戦力になった」などのお声をいただきました。



★地域元気応援隊★ 「中学校で遊ぼう！！」に参画しました！



6月12日(日)、鶴ノ島ふれあいセンター主催で、来春藤山中学校に進学する予定の鶴ノ島小学校、藤山小学校の6年生が交流できる場が企画されました。およそ30名の児童とその保護者、地域の方が藤山中学校に来校されました。

当日参加した17名の地域元気応援隊は4グループに分かれて校舎を案内し、さまざまな質問にも丁寧に応えていました。その姿に地域の方からお褒めの言葉をいただきました。また、本校を卒業された保護者がおられ、昔を懐かしんでおられる様子に、先輩とのつながりを感じた隊員も少なくなかったようです。その後、図書館に移動し、藤山中クイズ大会を行い、パワーポイントを使って分かりやすく解説しました。

最後に、体育館で風船ゲームやボール鬼ごっこをしたりして、交流を深めました。別れの時、小学生に「来年待っているよ」と優しく声をかける隊員に頼もしさを感じました。

